平成２８年４月 15 日

平成２８年度　学校経営計画

練馬区立旭丘中学校
校長　南　俊彦

教育目標

人間尊重の精神を踏まえ心身ともに健康で、国際社会において信頼と尊敬を得られる個性豊かな人間の育成をめざす。

１　心身ともに健康で思いやりのある生徒
２　自主的に学び、考え、実行する生徒
３　地域の一員として自覚と誇りを持つ生徒

１ はじめに

練馬区立旭丘中学校は長い歴史と伝統に支えられ､保護者・地域から信頼を得ています。本校の教育のさらなる質的向上に取り組んでいきます。そのため生徒には旭丘中学校の生徒であるという自信と誇り､保護者には旭丘中学校に我が子を託したことへの満足と誇り、地域には我が街の未来を託せる人材育成する期待と誇り、これらの実現に向け、上記の教育目標の具現化をめざします。

２ めざす学校像

（１）　確かな学力を身につけ、生涯に渡って学び続ける学力を育てる学校
（２）夢や希望を育み、自己実現を支える学校
（３）良き社会人としての規範意識の習得と社会貢献の姿勢を学べる学校
（４）個を尊重し、心安まる豊かな人間関係の中で学べる学校
（５）子供たちを慈しみ、教える「プロ」である教職員が協働する学校
（６）保護者・地域とともに創りあげる学校

３ めざす生徒像

（１）自他ともに大切にする思いやりのある生徒
（２）心身ともにたくましく鍛え、生きぬく力を備えた生徒
（３）探究心と創造力をもち学び続け、自らの考えを伝えられる生徒
（４）人と社会とともに生きることのできる生徒
（５）礼節をわきまえ、感謝と貢献する生徒
（６）挨拶・言葉遣いの美しい生徒
（７）自己実現に向けあきらめず努力し続ける生徒

４ めざす教師像

（１）教育公務員として法令を遵守し、その使命と品格を大切にする教職員
（２）人権感覚に基づき生徒に向き合い、丁寧にそして積極的に関わる教職員
（３）教える「プロ」として生徒の視点に立ち、最善の教育をする教職員
（４）保護者・地域との連携を深め情熱を持ち創意・工夫のできる教職員

（５）専門家としての力量をつけるため、絶えず研究と修養に励む教職員
（６）健康の維持増進を図り、ゆといのある心で生徒に接する教職員

５ 本年度の教育活動の目標と方策

①人権教育の充実
（ア）教職員の人権感覚を向上させるためのミニ研修会を実施する。
（イ）差別や偏見を許さず、豊かな心と個性を認めあう心を育成する。
（ウ）通常の学級と特別支援学級の生徒との共同学習や交流を促進し障害のある生徒の理解を図る。

②道徳教育の充実
（ア）「特別の教科道徳」の先行実施に向けて情報を収集する。
（イ）人権尊重の精神並びに生命に対する畏敬の念を育て、豊かな心を育むために、道徳の授業の充実を図る。
（ウ）「道徳授業地区公開講座」を土曜日に実施し、家庭や地域との連携について相互理解を深め道徳教育の啓発や充実を図る。
（エ）外部講師を招聘し「命の授業」を通して命の尊さ、自尊感情、人権意識を育成する。

③健全育成および命を大切にする教育の推進
（ア）各教科、道徳、総合的な学習の時間との関連を図り、生徒の自主的・実践的態度を育て、生徒の自立を促す。
（イ）様々な体験活動を通して、個性の育成と同時に集団や社会の一員としての自覚や責任感、規範意識を育成する。
（ウ）芸術教科や演劇作り等の創造的な活動を通して、生徒の感性を高め、情操豊かな生徒の育成に努める。
（エ）生徒と教師、生徒間の好ましい人間関係を育てるとともに、生徒理解を深め、生徒が自主的に判断し行動できるように指導する。
（オ）校内いじめ等対応支援特別チームの機能を強化し、いじめ防止学校全体で取り組んでいく。
（カ）情報モラル講習会、セーフティ教室を通して SNS や薬物乱用防止について考えさせ生徒の健全育成を図る。
（キ）SC や心のふれあい相談員を活用し、特別支援教育校内委員会の充実を図る。
（ク）SSW 等外部機関を適切に活用し、多様な課題の解決を図る。

④キャリア教育の推進
生徒一人一人が自己の生き方を考え、主体的に自らの進路を選択できるよう、キャリヤ教育を捉えた進路指導の充実を図る
（ア）自己理解と特性を捉えさせ、自己の能力について自身を持たせ、将来への希望と目的をもった自己の「生き方」を意識させる指導を行う。
（イ）正しい勤労観・職業観を待たせるために職業調べ、職場体験を実施する。
（ウ）3 年間の指導計画に基づき、学年ごとに指導内容の具体化を図る。
（エ）生徒が自らの力で進路を切り開くように、一人一人の願いを把握し、よさを発見し、認め、励ましていくとともに情報提供を充実させる。

⑤確かな学力の向上
（ア）生徒の実態に応じた指導内容を工夫しながら基礎・基本となる学習内容を身につけさせる。

（イ）英語と数学で少人数授業を実施する。全教科で個に応じた指導を充実させ学力向上を図る。
（ウ）体験的活動や言語活動を重視し考える力や表現する力を養うとともに、課題を自ら設定し解決する筋道を考える課題解決型の学習方法を研究する。
（エ）生徒・保護者に評価基準を示し、目標を定め自主的に課題を発見しその解決のために意欲的に学習活動に取り組む生徒を育成する。
（オ）ALT を有効活用し、英語によるコミュニケーション能力を高める。
⑥オリンピック・パラリンピック教育の推進、体力の向上・健康の保持増進
（ア）挨拶や奉仕活動、国際理解教育などの教育活動をオリンピック・パラリンピックの精神と結びつけながら学習を展開する。
（イ）新体力テストの結果を基に体力向上推進計画を作成し、保健体育科の授業や体育的行事の場面を生かし生徒の健康・体力の維持増進を図る。
（エ）学校保健委員会を実施し保護者、関係機関と連携・協力しながら組織的に取り組む。
⑦小中一貫教育の推進
（ア）年間を通じて小学校 2 校との合同研修を行い、教職員の意識を高め具体的に交流を行う。
（イ）外国語活動への乗り入れ授業、部活動体験などの取り組みを通して小学校から中学校へのスムーズな接続を実現する。
（ウ）小中学校の特別支援学級の交流や共同学習を通して 9 年間の発達段階を見通した指導を研究する。
⑧特別支援教育の充実
（ア）特別支援教育校内委員会を充実させ、個別の教育支援計画、学校生活支援シートを作成し、組織的に支援できる体制作りを行う。
（イ）いじめ・不登校の生徒の悩みや相談に迅速に対応できるよう SC や心のふれあい相談員と連携し相談体制を充実させる。
⑨学校図書室の活用推進
（ア）各教科、総合の学習の時間において、図書館を有効利用する。
（イ）朝読書の時間を通し生徒に言語活動能力、広い視野や教養を身につけさせる。
（ウ）区の図書館支援員の有効利用や図書委員会の活動を通し図書室の利用を増やす取り組みを行う。
⑩安全教育の推進
（ア）薬物乱用防止教室、セーフティ教室、情報モラル講習会を関係機関と連携し実施し非行・犯罪防止教育を計画的に行う。
（イ）地震の手引き、不審者対応の手引きを活用し計画的に安全教育を推進する。
（ウ）避難訓練は様々な場面で対応できる生徒を育成するために実施内容を工夫する。
⑪食育の推進
（ア）学級担任を中心に給食の時間に偏食、食事と運動との関係など食生活の重要性について指導する。
（イ）各教科で暮らし、植物など関連する内容を取り上げ、全校で食育に取り組む。
⑫ ITC 教育の推進
（ア）ICT 機器の理解を深め、生徒がわかる授業を展開するための有効利用の手段として活用する。
⑬環境教育の推進

（ア）学校生活においてゴミの分別、資源ゴミのリサイクル・再利用の大切さを意識させる。

⑭学校評価の充実

（ア）保護者、教職員、生徒に学校評価アンケートを実施しより良い学校作りに役立てる。

（イ）学校評価アンケートを学校運営連絡協議会に提示し意見交換等を活発にし魅力的な学校作りに役立てる。

⑮地域人材活用の充実

（ア）地域関係者との交流を積極的に行い、地域に根ざした学校作りを推進する。

（イ）生徒の地域行事への積極的な参加を促し、地域を理解し、地域に貢献できる人材として育成する。

６ 本年度の重点活動

①豊かな心の醸成
特別活動（生徒会活動・学級活動）を中心とした自主・自立の精神の醸成をめざす。
道徳の授業の充実を図る
生徒の自主的な活動を推進し、自尊感情を高める指導を図る。
教育相談の充実を図る。
周辺大学と連携し、芸術的な活動の充実を図る

②学力向上
少人数指導の授業（英語・数学）を実施し個に応じたきめ細やかな指導を進める。
体験的活動や言語活動を重視し考える力や表現する力を養う。
課題を自ら設定し、解決する筋道を考える課題解決学習型の学習方法を研修する。

③特別支援教育の充実
個別指導の工夫の啓発を図る校内研修を進める
共同学習や交流学習のあり方への工夫・改善を進める
特別支援教育に対する内・外に開かれた関係作りを進める。

④小中一貫教育の推進
東京ベーシックドリル等を活用し、小中の連続した学びについて研究をする。
小学生の部活動体験や外国語活動の乗り入れ授業を通して小中スムーズな学習の接続を行う。
年間を通し合同研究会を計画し小中の交流を深める。
小中特別支援学級の交流、共同学習を行い自己有用感を高める。
小中一貫教育について地域に発信し一貫教育のよさについて理解を求める。

平成28年度　練馬区立旭丘中学校　経営計画構造図

平成28年4月　校長　南俊彦

練馬区のめざす教育

夢や目標を持ち困難を乗り越える
力を備える子どもたちの育成

①体力、学力、豊かな心が調和した学びの充実
②教員の資質・能力の向上
③学校の教育環境の整備

本校の教育目標

人間尊重の精神を踏まえ心身ともに健康で、国際社会において信頼と尊敬を得られる個性豊かな人間の育成をめざす。

1　心身ともに健康で思いやりのある生徒
2　自主的に学び、考え、実行する生徒
3　地域の一員として自覚と誇りを持つ生徒

めざす生徒像像

〇自他ともに大切にする思いやりのある生徒
〇心身ともにたくましく鍛 え、生きぬく力を備えた生徒
〇探究心と創造力をもち学び続け、
自らの考えを伝えられる生徒
〇人と社会とともに生きることのできる生徒
〇礼節をわきまえ、感謝と貢献する生徒
〇挨拶・言葉遣いの美しい生徒
〇自己実現に向けあきらめず努力し続ける生徒

基本となる視点と目標・めざす教師像

豊かな心

・自主、自立の精神の育成
・道徳の授業の充実
・芸術的な活動の充実

すべての生徒が自他を思いやり、集団の中で活き活きと活動できる指導の徹底をはかり、自立と自律の態度を育てる。

〇めざす教師像
・人権感覚に基づいた視点
・命と向き合う姿勢
・地域と連携を深め創意工夫を行う

学力向上

・個に応じたきめ細やかな指導
・考える力、表現する力の育成
・課題解決型の学習方法

生徒の実態に即した指導内容指導方法の改善・工夫を行い学びの充実を図る・

〇めざす教師像
・教える「プロ」として最善をつくす
・教科の専門性の向上
・個に応じた指導の推進
・教材教具の工夫

特別支援教育

・個別指導の工夫
・共同学習・交流学習のあり方
・教育相談活動の充実

一人一人の教育ニーズを捉え個の伸長をめざす視点に立った支援のあり方と教育活動の充実を図る。

〇めざす教師像
・生徒理解と包容力
・指導力と意識の向上
・組織的な体制の理解

小中一貫教育

・小中の連続した学び
・小中のスムーズな接続
・外国語活動

小中一貫教育のよさを実感し地域に発信する。
目に見える形で小学校と連携する。

〇めざす教師像
・9年間を見通した研究活動
・小学校文化の理解
・小学校教員との連携

特色ある教育の推進

・小中一貫教育の推進　・特別支援教育の充実　・芸術的活動の推進
・少人数指導による学力向上

めざす学校像

・確かな学力を身につけさせる学校　・自己実現がかなう学校
・プロの教職員が協働する学校・学校・規範意識と社会貢献の姿勢を学ぶ学校
・地域とともにある学校